



事務所便り

平成 26 年 5 月号

特定社会保険労務士・行政書士

重村行政労務管理事務所

ご連絡先：〒235-0021

：横浜市磯子区岡村 7-8-15-102

電話・FAX：045-754-3412 携帯:070-5542-1466

E-mail：shigemura.office@etude.ocn.ne.jp

●オバマ大統領のアジア歴訪の成果は

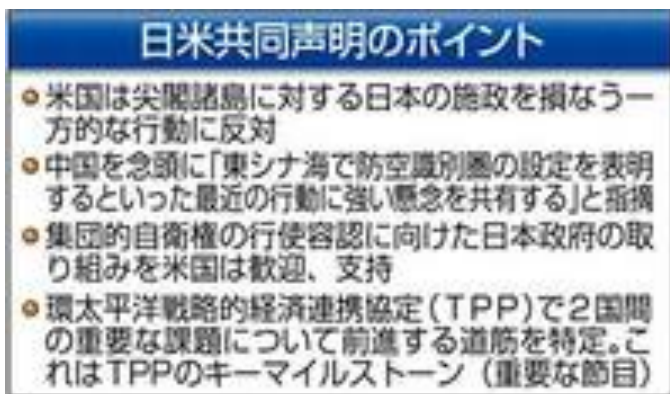
オバマ米大統領は 29 日、日本などアジア 4 カ国歴訪を終え専用機で帰国した。

23 日に東京入りし、24 日には安倍晋三首相と首脳会談を実施。25 日以降は韓国、マレーシア、フィリピンを訪れ、アジア重視の姿勢をアピールした。海洋進出を強力に推進する中国に対して、強い警告を発し、同盟国の安全保障を推進することを約した。特に日本に対しては尖閣列島が日米安全保障条約の対象であることを明言したことは大きな成果であったが、米国内での評価は低いようである。

●日米共同声明に「重大な懸念」＝中国

中国外務省の秦剛報道局長は 25 日の記者会見で、沖縄県・尖閣諸島を日米安保条約の適用対象とし、中国による防空識別圏設定などにも言及した日米共同声明に対し「重大な懸念」を表明。「一部の問題を利用して他国をあれこれ批評するのは、問題の解決に役立たず、地域の安定にも良くない影響を及ぼす」と批判した。

日米共同声明のポイント



●米空母、戦略爆撃機投入も＝中国の挑発に強力措置—WSJ 紙

28 日付の米紙ウォール・ストリート・ジャーナルは、複数の米政府関係者の話として、中国

が東・南シナ海での挑発行為をエスカレートさせた場合に備え、米太平洋軍が「これまでより強力な軍事オプション」を用意したと報じた。同紙は「中国が新たに一方的行動を取れば、米軍の行動に直面するだろう」と伝えている。

同紙によると、新たな選択肢には(1)中国周辺でのステルス戦略爆撃機 B2 の飛行(2)中国近海での空母を使った演習(3)台湾海峡を含む係争水域への空母派遣(4)中国近隣での監視活動強化(5)同盟国への米海軍艦船の寄港増加—などが含まれる。北朝鮮による挑発行為を想定したシナリオも練られているという。アジア正面に対して冷淡と言われたオバマ政権が本気でアジアに関与する姿勢を明確にしたものとして歓迎されている。

●旅客船沈没：専門家も指揮官もいない救出

セウォル号の沈没事故では、船員による乗客の避難誘導、海洋警察による初期の救助作業、政府による行方不明者家族へのケアなど初動から事故収拾の全過程で問題が続出した。

事故当日、現場に真っ先に到着した海洋警察は、船内の乗客の避難誘導や船内に進入しての救助作業を行おうとしなかった。行方不明者の家族は「自分の管轄ではない」という公務員の型にはまった説明に憤った。専門家は「現場を熟知する専門家が指揮を取れなかったことが原因だ」と指摘した。現場には指揮官不在で、にわか専門家が指示を出した結果、事故の収拾作業はさらに停滞した。危機管理は平素からの備えと訓練から！

●健康診断の「新基準」に反応続々

多くの企業で健康診断が行われる 4 月、健康診断や人間ドックで「異常なし」とされる基準が変わるかもしれないという気になる研究結果が公表された。

日本人間ドック学会などが作る専門家委員会が、人間ドックで健康の基準とされる値について、従来の数値より上限や下限を緩和した数値を発表した。

	従来基準	新基準	
	男女共通	男	女
拡張期血圧(上)	130未満	88~147	
収縮期血圧(下)	85未満	51~94	
肥満度(BMI)	25未満	18.5~27.7	16.8~26.1
総コレステロール	140~199	151~254	145~238
			175~280
LDLコレステロール	60~119	72~178	61~152
			73~183
			84~190
中性脂肪	30~149	39~198	32~134
コレステロールの女の3区分は、上から順に「30~44歳」「45~64歳」「65~84歳」			

これまで基準値をはみ出していた人も今後は「健康」となるかもしれないとあって、学会や厚生労働省には多くの問い合わせが来ている。しかし、病気のリスクは個人差が大きい上、新しい数値がそのまま採用されるかはまだはっきりしない。専門家は「数値に一喜一憂するのではなく、体の状態を正しく理解することが求められる」と冷静な対応を求めている。(産経新聞)あなたの数値は？

●100歳以上生きた「百寿者」 痩せ型の人やB型の人が多い

日本では、100年以上生きてきた「百寿者」が5万人を突破している。百寿者はどんな特徴を持っているのだろうか。

炎症を抑える物質の一つに、アディポネクチンがある。これは、脂肪細胞から分泌されるホルモン物質アディポカインのうち、善玉とされる種類だ。

「百寿者には糖尿病が少ないのですが、炎症を抑える物質の一つ、アディポネクチンが高いせいではないかと考え、調査した。すると、その濃度は、女性百寿者では若い女性の2倍もあることがわかりました。アディポネクチンが糖尿病や動脈硬化、そして炎症反応を抑える作用を持つ可能性があることも明らかになった」

肥満型、つまり、脂肪細胞が大きいと、そこから分泌されるアディポカインは悪玉が多く、糖尿病や動脈硬化、ひいては心筋梗塞や脳卒中になりやすい。一方で、善玉のアディポネクチンを分泌

するのは、小型の脂肪細胞だ。

「百寿者はみな痩せている。つまり、脂肪細胞が小型化している可能性がある。アディポネクチンがたくさん出て、糖尿病や動脈硬化が抑えられ、その結果、長生きに結びついているのではないかと考えられる」

動脈硬化を抑制する要因には、アポEもある。「アポEというのは遺伝子の一つで、さまざまな長寿遺伝子の研究で名前が挙がってきます。アルツハイマーや動脈硬化に大きな影響を与えるのですが、アポEには2型、3型、4型の3種類があり、若い人のアポEは、3型が80%、2型が約5~10%、4型が約10~15%を占めています」

それが百寿者となると、比率が変わる。「百寿者の方を調べると、2型を持っている方が多く、4型を持っている方は少ないという結果になった」

理由はよく分かっていないが、この2型が多いとアルツハイマーになりにくいと言う。

血液型も、寿命に関係がありそうだ。日本人はA型が4割、O型が3割、B型が2割で、最も少ないのがAB型だ。ところが、百寿者となると多少変化が見られる。

「A型が34%、OとBが30%。つまり、A型が少なく、B型が多いことがわかった」

あなたは何歳まで生きられますか？

●各種保険の更新

毎年7月10日までに各種保険の見直しが行われます。5月には入りましたら、社員の25年度の給与の給与及び、26年4月から6月までの給与の支払額を整理しましょう。

1. 労災保険、雇用保険の年度更新
労働保険の25年度の保険料の清算と、26年度の概算保険料の概算による支払。
2. 健康保険、厚生年金保険の算定基礎届
26年4月から6月までの平均給与から、社会保険標準報酬月額を算定して、1年間の健康保険料及び厚生年金保険料を決定して届け出る。

お忙しいこととは存じますが、計画的に準備を進めましょう。